

分野別施策・指標評価表(がん分野:1-1 がんの予防(1次予防))

青:改善 黒:横ばい 赤:後退 —:指標評価なし

番号	施策 (C 個別施策)					
----	-------------	--	--	--	--	--

1	県及び関係団体は、屋内禁煙または敷地内禁煙を推進し、受動喫煙を防止する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	望まない受動喫煙の機会を有する者の割合	職場	20.5% (R3)	— —	—	15%
			飲食店	22.1% (R3)	— —	—	0%
			【再】 家庭(父親)	33.6% (R4)	— —	—	30%
			【再】 家庭(母親)	5.8% (R4)	— —	—	4%

2	喫煙者へ禁煙をすすめる		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	ニコチン依存症管理料算定数(※)		3,114 (R3)	1,434 (R4)	↘ 後退	増加

(※)出典からのデータ提供がなくなったため、類似指標へ変更:
ニコチン依存症管理料を算定する患者数(レセプト件数)→ニコチン依存管理料算定数

3	県及び市町村は、感染に起因するがん予防のワクチン接種を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	予防接種研修会の開催回数		0回 (R4)	1回 (R5)	↗ 改善	1回/年以上

4	県は、感染に起因するがんのウイルス等の検査を推奨する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	公費肝炎検査実施数	B型	4,251 293(10万人対) (R3)	5,368 371(10万人対) (R4)	↗ 改善	増加
			C型	4,253 294(10万人対) (R3)	4,970 344(10万人対) (R4)	↗ 改善	増加
	指標	妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の公費負担実施率		100% (R4)	100% (R5)	→ 横ばい	100%維持

5	県は、ウイルス性肝炎治療の医療費助成を行う		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	公費肝炎治療開始者数	B型	745 (R4)	752 (R5)	↗ 改善	増加
			C型	47 (R4)	38 (R5)	↘ 後退	増加

6	県及び市町村は、過度の飲酒をしないように啓発活動を行う		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし					

7	県及び市町村は、県民の生活習慣(適正体重維持等)の改善を図る		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし					

番号	施策目標 (B 中間アウトカム)					
----	------------------	--	--	--	--	--

1	喫煙率と受動喫煙が減少できている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	20歳以上の者の喫煙率	男性	24.2% (R3)	—	—	20%
			女性	5.0% (R3)	—	—	4%
	指標	両親の喫煙率	父親	33.6% (R4)	—	—	30%
			母親	5.8% (R4)	—	—	4%
	指標	高校生の喫煙率	男子	2.5% (R3)	—	—	0%
			女子	0.8% (R3)	—	—	0%
指標	妊婦の喫煙率			2.1% (R4)	—	—	0%

2	感染に起因するがんが予防されている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	B型肝炎定期予防接種実施率	1回目	95.6%	—	—	増加
			2回目	96.0%	—	—	
			3回目	88.2% (R4)	—	—	
	指標	HPVワクチンの定期予防接種実施率	1回目	21.2%	25.3%	↗	増加
			2回目	15.7%	14.3%	↘	
			3回目	10.2% (R4)	9.1% (R5)	↘	

数値集計ミスのため修正
公費肝炎検査実施数(基準年:R3)
B型:(×)4,241→(○)4,251
C型:(×)4,250→(○)4,253

3	生活習慣病のリスクを高める過度の飲酒をしている人が減少している		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	男性(40g)	17.2% (R3)	—	—	16%
			女性(20g)	13.1% (R3)	—	—	11%
	指標	節度ある適度な飲酒量(1日平均純アルコールで約20g程度)を知っている人の割合		41.1% (R3)	—	—	50%
	指標	高校生の飲酒率	男子	4.9% (R3)	—	—	0%
			女子	4.5% (R3)	—	—	0%

4	生活習慣(適正体重維持等)が改善している		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	運動習慣者の割合	20～64歳男性	30.3% (R3)	—	—	33%
			20～64歳女性	19.3% (R3)	—	—	26%
			65歳以上男性	56.6% (R3)	—	—	60%
			65歳以上女性	43.0% (R3)	—	—	46%
	指標	適正体重を維持している者の割合	20～60歳代男性肥満者	46.0% (R4)	—	—	35%
			40～60歳代女性肥満者	31.7% (R2)	31.0% (R3)	↘ 改善	28%
			20～30歳代女性やせ	16.7% (R4)	—	—	16%
	指標	野菜摂取量(1日当たりの平均摂取量)(成人)		285.6g (R3)	—	—	310g
	指標	果物摂取量(1日当たりの平均摂取量)(成人)		127.4g (R3)	—	—	130g
	指標	食塩摂取量(1日当たりの平均摂取量)(成人)		13.0g (R3)	—	—	10g

番号	分野目標 (A 分野アウトカム)					
----	------------------	--	--	--	--	--

1	がんの死亡者が減少している		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人対)		72.9 (R4)	—	—	65.0
	指標	がん種別75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人対)	胃	4.4 (R4)	—	—	減少
			大腸	11.2 (R4)	—	—	減少
			肺	11.5 (R4)	—	—	減少
			乳房(女性)	10.3 (R4)	—	—	減少
			子宮	7.1 (R4)	—	—	減少
			肝	4.3 (R4)	—	—	減少



2	がんの罹患者が減少している		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	年齢調整罹患率(人口10万人対)		364.7 (R1)	339.0 (R2)	↘ 改善	減少
	指標	がん種別年齢調整罹患率(人口10万人対)・ATL罹患数	胃	21.5 (R1)	21.0 (R2)	↘ 改善	減少
			大腸	60.1 (R1)	60.8 (R2)	↗ 後退	減少
			肺	36.1 (R1)	31.2 (R2)	↘ 改善	減少
			乳房(女性)	112.1 (R1)	104.8 (R2)	↘ 改善	減少
			子宮頸部	19.3 (R1)	13.6 (R2)	↘ 改善	減少
			肝	11.2 (R1)	10.2 (R2)	↘ 改善	減少
			ATL(罹患数)	110 (R1)	—	—	減少

分野別施策・指標評価表（がん分野：1-2 がんの早期発見、がん検診（2次予防））

青:改善 黒:横ばい 赤:後退 ー:指標評価なし

番号	施策（C 個別施策）					
----	------------	--	--	--	--	--

1	市町村と検診機関は、国の指針に基づいたがん検診を指針に基づいた方法で実施する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	国の指針に基づかない前立腺がん検診(PSA検査)を実施している市町村の割合	52.1% (R3)	36.6% (R4)	↓ 改善	減少
	指標	国の指針に基づかない子宮体がん検診(細胞診)を実施している市町村の割合	0.0% (R3)	0.0% (R4)	→ 横ばい	0%維持
	指標	国の指針に基づかないエコーによる検診(肝臓、卵巣、甲状腺)を実施している市町村の割合	0.0% (R3)	0.0% (R4)	→ 横ばい	0%維持

番号	施策目標（B 中間アウトカム）					
----	-----------------	--	--	--	--	--

1	科学的根拠に基づいたがん検診が行なわれている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	国の指針に基づく対象年齢で検診を実施している市町村の割合	胃	7.7% (R3)	7.5% (R4)	↓ 後退	増加
			大腸	51.2% (R3)	51.2% (R4)	→ 横ばい	増加
			肺	39.0% (R3)	29.3% (R4)	↓ 後退	増加
			乳	87.2% (R3)	90.2% (R4)	↑ 改善	増加
			子宮頸	89.7% (R3)	97.6% (R4)	↑ 改善	増加
	指標	国の指針に基づく受診間隔で検診を実施している市町村の割合	胃	12.8% (R3)	5.0% (R4)	↓ 後退	増加
			大腸	100.0% (R3)	98.0% (R4)	↓ 後退	増加
			肺	95.1% (R3)	97.6% (R4)	↑ 改善	増加
			乳	51.3% (R3)	46.3% (R4)	↓ 後退	増加
			子宮頸	46.2% (R3)	41.5% (R4)	↓ 後退	増加
	指標	国の指針に基づかない何らかの部位でがん検診を実施している市町村割合		53.7% (R3)	39.0% (R4)	↓ 改善	減少

番号	分野目標（A 分野アウトカム）					
----	-----------------	--	--	--	--	--

1	がん(胃・大腸・肺・乳・子宮頸)の死亡率が減少している		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	【再】がん種別75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人対)	胃	4.4 (R4)	ー	ー	減少
			大腸	11.2 (R4)	ー	ー	減少
			肺	11.5 (R4)	ー	ー	減少
			乳房(女性)	10.3 (R4)	ー	ー	減少
			子宮	7.1 (R4)	ー	ー	減少



2	がん(胃・大腸・肺・乳・子宮頸)の進行がん罹患率が減少している		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	進行がん罹患率	胃	ー	ー	ー	減少
			大腸	ー	ー	ー	減少
			肺	ー	ー	ー	減少
			乳	ー	ー	ー	減少
			子宮頸	ー	ー	ー	減少

2	県は、市町村及び検診機関の担当者にに対し、がん検診の精度管理に関する情報提供を行うとともに研修への参加を促す		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	全国がん検診従事者研修を修了した職員が在籍する市町村の割合	36.6% (R4)	29.3% (R5)	↓ 後退	増加	
	指標	県が開催するがん検診事業担当者説明会に参加した市町村の割合	73.2% (R4)	63.4% (R5)	↓ 後退	増加	

検診の適切な精度管理が行われている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
指標	要精検率 ※40〈胃50/子宮頸20〉～74歳	胃	6.2% (R1)	6.2% (R3)	→ 横ばい	7.7% 以下
		大腸	6.5% (R1)	6.0% (R3)	↓ 改善	6.8% 以下
		肺	1.7% (R1)	1.8% (R3)	↑ 後退	2.4% 以下
		乳	8.1% (R1)	7.8% (R3)	↓ 改善	6.4% 以下
		子宮頸	3.0% (R1)	2.5% (R3)	↓ 改善	2.5% 以下
指標	精密検査受診率 ※40〈胃50/子宮頸20〉～75歳	胃	66.7% (R1)	58.9% (R3)	↓ 後退	90.0% 以上
		大腸	57.2% (R1)	55.8% (R3)	↓ 後退	90.0% 以上
		肺	59.1% (R1)	58.8% (R3)	↓ 後退	90.0% 以上
		乳	75.9% (R1)	77.8% (R3)	↑ 改善	90.0% 以上
		子宮頸	65.5% (R1)	62.7% (R3)	↓ 後退	90.0% 以上
指標	精検未受診率 ※40〈胃50/子宮頸20〉～76歳	胃	10.4% (R1)	14.4% (R3)	↑ 後退	5.0% 以下
		大腸	15.4% (R1)	17.6% (R3)	↑ 後退	5.0% 以下
		肺	10.2% (R1)	11.5% (R3)	↑ 後退	5.0% 以下
		乳	4.9% (R1)	4.8% (R3)	↓ 改善	5.0% 以下
		子宮頸	9.0% (R1)	12.5% (R3)	↑ 後退	5.0% 以下
指標	精検未把握率 ※40〈胃50/子宮頸20〉～77歳	胃	22.9% (R1)	26.7% (R3)	↑ 後退	5.0% 以下
		大腸	27.4% (R1)	26.5% (R3)	↓ 改善	5.0% 以下
		肺	30.7% (R1)	29.7% (R3)	↓ 改善	5.0% 以下
		乳	19.3% (R1)	17.4% (R3)	↓ 改善	5.0% 以下
		子宮頸	25.5% (R1)	24.8% (R3)	↓ 改善	5.0% 以下
指標	がん発見率 ※40〈胃50/子宮頸20〉～77歳	胃	0.07% (R1)	0.07% (R3)	→ 横ばい	0.19% 以上
		大腸	0.12% (R1)	0.15% (R3)	↑ 改善	0.21% 以上
		肺	0.02% (R1)	0.03% (R3)	↑ 改善	0.10% 以上
		乳	0.28% (R1)	0.34% (R3)	↑ 改善	0.31% 以上
		子宮頸	0.04% (R1)	0.03% (R3)	↓ 後退	0.15% 以上
指標	陽性反応適中度 ※40〈胃50/子宮頸20〉～78歳	胃	1.06% (R1)	1.17% (R3)	↑ 改善	2.5% 以上
		大腸	1.92% (R1)	2.52% (R3)	↑ 改善	3.0% 以上
		肺	0.99% (R1)	1.51% (R3)	↑ 改善	4.1% 以上
		乳	3.46% (R1)	4.40% (R3)	↑ 改善	4.8% 以上
		子宮頸	1.23% (R1)	1.37% (R3)	↑ 改善	5.9% 以上
CIN3以上発見率(子宮頸)			0.16% (R1)	0.12% (R3)	↓ 後退	0.15% 以上
非初回受診者の2年連続受診者割合	乳	12.3% (R1)	11.3% (R3)	↓ 改善	30.0% 以下	
	子宮頸	12.2% (R1)	12.4% (R3)	↑ 後退	40.0% 以下	

3	県、市町村及び検診機関は、精度管理の向上に取り組む		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	プロセス指標を集計している検診機関の割合 ※胃はX線	胃	57.5% (R4)	69.2% (R5)	↑ 改善	増加
			大腸	64.5% (R4)	69.9% (R5)	↑ 改善	増加
			肺	65.6% (R4)	66.0% (R5)	↑ 改善	増加
			乳	54.8% (R4)	57.5% (R5)	↑ 改善	増加
			子宮頸	65.0% (R4)	65.6% (R5)	↑ 改善	増加
	指標	市区町村用がん検診チェックリスト全項目の実施率 ※集団検診(胃はX線)	胃	62.4% (R3)	68.1% (R4)	↑ 改善	増加
			大腸	62.0% (R3)	65.6% (R4)	↑ 改善	増加
			肺	62.2% (R3)	66.9% (R4)	↑ 改善	増加
			乳	61.8% (R3)	65.6% (R4)	↑ 改善	増加
			子宮頸	62.2% (R3)	63.5% (R4)	↑ 改善	増加
	指標	検診機関用がん検診チェックリスト全項目の実施率 ※胃はX線	胃	75.9% (R4)	79.0% (R5)	↑ 改善	増加
			大腸	86.1% (R4)	85.7% (R5)	↓ 後退	増加
			肺	78.7% (R4)	78.6% (R5)	↓ 後退	増加
			乳	87.0% (R4)	88.9% (R5)	↑ 改善	増加
			子宮頸	87.6% (R4)	88.3% (R5)	↑ 改善	増加

4	県は、精度管理に関する検討を行い、結果を公開する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	県ががん検診チェックリスト結果を公開している市町村の割合		100% (R3)	100% (R5)	→ 横ばい	100% 維持
	指標	県ががん検診チェックリスト結果を公開している検診機関の割合	胃(X線)	93.2% (R4)	95.1% (R5)	↑ 改善	増加
			胃(内視鏡)	89.3% (R4)	95.9% (R5)	↑ 改善	増加
			大腸	89.4% (R4)	94.6% (R5)	↑ 改善	増加
			肺	98.1% (R4)	93.6% (R5)	↓ 後退	増加
			乳	97.7% (R4)	97.6% (R5)	↓ 後退	増加
			子宮頸	91.2% (R4)	93.8% (R5)	↑ 改善	増加

5	職域検診を提供する事業者は、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」に基づき、がん検診を実施する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし				

指標	要精検率の基準値を達成している市町村の割合	胃	84.6% (R1)	65.8% (R3)	後退	増加
		大腸	51.2% (R1)	67.5% (R3)	改善	増加
		肺	75.6% (R1)	70.7% (R3)	後退	増加
		乳	25.0% (R1)	33.3% (R3)	改善	増加
		子宮頸	53.7% (R1)	60.0% (R3)	改善	増加
指標	精検受診率の基準値(90%以上)を達成している市町村の割合	胃	27.3% (R1)	8.3% (R3)	後退	増加
		大腸	2.4% (R1)	5.0% (R3)	改善	増加
		肺	6.9% (R1)	10.7% (R3)	改善	増加
		乳	23.7% (R1)	35.1% (R3)	改善	増加
		子宮頸	17.9% (R1)	5.7% (R3)	後退	増加
指標	精検未把握率の目標値(5%以下)を達成している市町村の割合	胃	30.3% (R1)	19.4% (R3)	後退	増加
		大腸	14.6% (R1)	15.0% (R3)	改善	増加
		肺	17.2% (R1)	17.9% (R3)	改善	増加
		乳	26.3% (R1)	37.8% (R3)	改善	増加
		子宮頸	33.3% (R1)	22.9% (R3)	後退	増加

市町村は、がん検診の対象者に対して、がん検診の意義及び必要性について、分かりやすい説明を行う		指標項目	基準年	直近値	結果	目標	
6	指標	受診勧奨時に「検診機関用チェックリスト1.受診者への説明」が全項目記載された資料を全員に個別配布している市町村の割合 ※集団検診(胃はX線)	胃	83.8% (R3)	78.9% (R4)	⬇️ 後退	増加
			大腸	82.5% (R3)	77.5% (R4)	⬇️ 後退	増加
			肺	82.5% (R3)	77.5% (R4)	⬇️ 後退	増加
			乳	87.1% (R3)	76.5% (R4)	⬇️ 後退	増加
			子宮頸	82.4% (R3)	74.3% (R4)	⬇️ 後退	増加
	指標	普及啓発のためのキャンペーンを実施している市町村の割合		56.0% (R4)	58.5% (R5)	⬆️ 改善	増加

3	検診受診率が向上している		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	がん検診受診率(国民生活基礎調査) ※40(胃50/子宮頸20)～69歳	胃	47.6% (R4)	— —	— —	60%以上
			大腸	38.4% (R4)	— —	— —	60%以上
			肺	44.5% (R4)	— —	— —	60%以上
			乳	48.8% (R4)	— —	— —	60%以上
			子宮頸	45.3% (R4)	— —	— —	60%以上
	指標	市町村対策型がん検診受診率(地域保健・健康増進報告) ※40(胃50/子宮頸20)～69歳	胃	7.1% (R3)	7.2% (R4)	改善	増加
			大腸	6.4% (R3)	6.6% (R4)	改善	増加
			肺	7.0% (R3)	7.3% (R4)	改善	増加
			乳	12.1% (R3)	12.5% (R4)	改善	増加
			子宮頸	12.9% (R3)	13.2% (R4)	改善	増加

7	市町村は、科学的かつ効率的な手段を用いて、がん検診及び精密検査の対象者へ受診勧奨・再勧奨を行うとともに、精密検査受診者の把握に努める		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	対象者全員に個別に受診勧奨(コール)を行っている市町村の割合	胃	62.2% (R3)	65.8% (R4)	 改善	増加
			大腸	60.0% (R3)	65.0% (R4)	 改善	増加
			肺	60.0% (R3)	65.0% (R4)	 改善	増加
			乳	77.4% (R3)	73.5% (R4)	 後退	増加
			子宮頸	73.5% (R3)	77.1% (R4)	 改善	増加
	指標	未受診者全員に対し再度の受診勧奨(リコール)を個別に行っている市町村の割合	胃	10.8% (R3)	7.9% (R4)	 後退	増加
			大腸	15.0% (R3)	12.5% (R4)	 後退	増加
			肺	12.5% (R3)	12.5% (R4)	 横ばい	増加
			乳	9.7% (R3)	14.7% (R4)	 改善	増加
			子宮頸	14.7% (R3)	14.3% (R4)	 後退	増加

市町村は、検診機関等と協力して、がん検診の利便性向上を図る		指標項目	基準年	直近値	結果	目標	
8	指標	休日(土日・祝日)、早朝又は深夜に集団検診を実施している市町村の割合	胃	81.6% (R3)	84.2% (R4)	 改善	増加
			大腸	80.5% (R3)	80.0% (R4)	 後退	増加
			肺	82.9% (R3)	85.0% (R4)	 改善	増加
			乳	39.4% (R3)	47.2% (R4)	 改善	増加
			子宮頸	36.4% (R3)	42.9% (R4)	 改善	増加

分野別施策・指標評価表(がん分野:2-1 がん医療提供体制等)

青:改善 黒:横ばい 赤:後退 ー:指標評価なし

番号	施策（C 個別施策）				
----	------------	--	--	--	--

①医療提供体制

1	県は必要に応じたがん医療の集約化と機能分担及び連携を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし					

2	病理診断医の適正配置に努め、病理診断の質の向上を図る		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1名以上配置されている拠点病院等の数		5 (R4)	4 (R5)	後退	6

3	がんゲノム医療・がん研究等を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	がんゲノム情報管理センターに登録された患者数		83件 (R3)	80件 (R4)	後退	増加
	指標	臨床試験を実施したがん診療を行う医療機関の割合		38.46% (R5)	32.00% (R6)	後退	増加

4	必要な資格をもった専門家による手術治療を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	各専門医の数	消化器外科	81人 (R5)	82人 (R6)	改善	増加
			呼吸器外科	16人 (R5)	17人 (R6)	改善	増加
			乳腺	15人 (R5)	18人 (R6)	改善	増加
			小児外科	6人 (R5)	6人 (R6)	横ばい	増加
			肝胆脾外科高度技能	3人 (R5)	4人 (R6)	改善	増加
			脳神経外科	69人 (R5)	74人 (R6)	改善	増加
			皮膚悪性腫瘍指導専門	2人 (R5)	2人 (R6)	横ばい	増加
			泌尿器科	66人 (R5)	67人 (R6)	改善	増加
			頭頸部がん	7人 (R5)	7人 (R6)	横ばい	増加
			口腔外科	23人 (R5)	26人 (R6)	改善	増加

5	必要な資格をもった専門家による放射線治療を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	専従の放射線治療に携わる専門的な知識・技能を有する常勤医師が1人以上配置されている拠点病院の数		3 (R4)	3 (R5)	横ばい	維持

6	必要な資格をもった専門家による薬物治療を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	がん薬物療法専門医師が1人以上配置されている拠点病院等の数		1 (R4)	2 (R5)	改善	増加

7	がん診療を行う医療機関においては、適切なリハビリテーションを行う		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されている拠点病院の数		3 (R4)	3 (R5)	横ばい	維持

8	ガイドラインに沿った適切ながん支持療法を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	治療による副作用の見通しを持てた患者の割合		〈参考〉 82.6% (H30)	ー ー	ー	増加

9	インフォームドコンセントを行い、セカンドオピニオンを提示する体制を整備する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	全てのがん患者とその家族等に対するセカンドオピニオンの提示などが適切に実施できているがん診療を行う医療機関の割合		84.62% (R5)	84.00% (R6)	後退	100%
	指標	患者に対するインフォームドコンセントを実施できているがん診療を行う医療機関の割合		96.15% (R5)	100.00% (R6)	改善	100%

10	アドバンス・ケア・プランニングを行う		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	患者や家族に対し必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニングを行っているがん診療を行う医療機関の割合		84.62% (R5)	80.00% (R6)	後退	100%

11	がん診療を行う医療機関における多職種によるカンファレンスの開催及びチーム医療を推進する		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし					

番号	施策目標（B 中間アウトカム）				
----	-----------------	--	--	--	--

1	患者が「がん診療を行う医療機関」において、各医療機関の機能分担に応じた質の高い安心な医療が受けられている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合		ー ー	ー ー	ー	増加
	指標	感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するためのBCP（事業継続計画）について整備しているがん診療を行う医療機関の割合		65.38% (R5)	64.00% (R6)	後退	100%

2	標準治療及び必要な患者が最新の知見に基づく最適な治療を受けられている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	悪性腫瘍手術の実施件数（病院＋診療所合計）		435 (R2)	ー ー	ー	増加
	指標	外来化学療法の実施件数（病院＋診療所合計）		2,494 (R2)	ー ー	ー	増加
	指標	放射線治療の実施件数		2,451 (R2)	ー ー	ー	増加
	指標	がんリハビリテーション実施医療機関数		23 (R3)	23 (R6)	横ばい	増加
	指標	がんリハビリテーション実施件数		4,033 (R3)	4,258 (R4)	改善	増加
	指標	術中迅速病理組織標本の作製件数	医療機関数	15～17	15～18	改善	増加
	指標		レセプト件数	1,043 (R3)	963～972 (R4)	後退	増加
	指標	病理組織標本の作製件数	医療機関数	150	144	後退	増加
	指標		レセプト件数	14,013 (R3)	14,395 (R4)	改善	増加
	指標	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	医療機関数	200	202	改善	増加
	指標		レセプト件数	87,528 (R3)	91,782 (R4)	改善	増加

(※) 出典からのデータ提供がなくなったため、類似指標へ変更：
がん患者指導の実施数(レセプト件数)→がん患者指導管理料算定数

4	適切なチーム医療を受けられている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	拠点病院等における臓器横断的にがん患者の診断及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスの開催回数		10回／月 (R4)	11回／月 (R5)	改善	増加

番号	分野目標（A 分野アウトカム）				
----	-----------------	--	--	--	--

1	住んでいる地域に関わらず、適切な医療連携に基づく患者本位のがん医療を受けられている		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	がんの診断・治療全般の総合評価	平均点	〈参考〉 8.2点	—	—	増加
			評価8以上	75.5% (H30)	—	—	増加
	指標	がん種別5年相対生存率	全部位	62.2% (2014年診断)	—	—	増加
			胃	59.9% (2014年診断)	—	—	増加
			大腸	66.3% (2014年診断)	—	—	増加
			肺	27.0% (2014年診断)	—	—	増加
			乳房	89.1% (2014年診断)	—	—	増加
			子宮頸部	67.4% (2014年診断)	—	—	増加
	指標	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	〈参考〉 31.6% (H30)	—	—	減少	
	指標	精神的・心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	〈参考〉 26.1% (H30)	—	—	減少	

②在宅医療

	在宅医療に関する普及啓発資料を活用するなど、情報周知を行う	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
12	指標	全てのがん患者やその家族等に対して、在宅医療に関する適切な情報提供を行っているがん診療を行う医療機関の割合	76.92% (R5)	84.00% (R6)	改善	増加

	多職種チームによる在宅医療の検討体制を構築する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
13	指標	退院前カンファレンスなどをとおして、多職種チームによる在宅医療の検討体制が整備されているがん診療を行う医療機関の割合	80.77% (R5)	84.00% (R6)	改善	増加

	がん診療を行う医療機関と在宅医療機関の連携を進める	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
14	指標	地域の在宅医療機関、がん診療連携登録歯科医療機関、薬局及び訪問看護ステーション等との連携を図り、夜間等における医療用麻薬の提供体制等、在宅医療が適切に実施される体制を整備しているがん診療を行う医療機関の割合	46.15% (R5)	64.00% (R6)	改善	増加

③がんと診断された時からの緩和ケアの推進

	緩和ケア研修会の受講を促進する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
15	指標	緩和ケア研修会受講者数	190 (R4)	189 (R5)	後退	増加
	指標	自施設の医療従事者に緩和ケア研修会受講を求めているがん診療を行う医療機関の割合	84.62% (R5)	88.00% (R6)	改善	増加

	専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
16	指標	緩和ケアチームを設置しているがん診療を行う医療機関の割合	76.92% (R5)	— (R6)	—	増加
	指標	緩和ケアに関する専門知識を有する医師を配置しているがん診療を行う医療機関の割合	53.85% (R5)	60.00% (R6)	改善	増加
	指標	緩和ケアに関する専門知識を有する看護師を配置しているがん診療を行う医療機関の割合	80.77% (R5)	76.00% (R6)	後退	増加
	指標	緩和ケアに関する専門知識を有する薬剤師を配置しているがん診療を行う医療機関の割合	23.08% (R5)	20.00% (R6)	後退	増加
	指標	緩和ケアに関する専門知識を有する心理士を配置しているがん診療を行う医療機関の割合	50.00% (R5)	52.00% (R6)	改善	増加
	指標	がん患者の苦痛に対し主治医が十分な緩和ケアを提供できないと判断した場合、速やかに緩和ケア外来や緩和ケアチームに紹介しているがん診療を行う医療機関の割合	84.62% (R5)	92.00% (R6)	改善	増加

	患者の苦痛の把握に取り組む	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
17	指標	初診時及び入院時のがん患者に対し苦痛のスクリーニングを行っているがん診療を行う医療機関の割合	61.54% (R5)	72.00% (R6)	改善	増加
	指標	日常診療の定期的な確認事項として、がん患者に対し苦痛のスクリーニングを行っているがん診療を行う医療機関の割合	69.23% (R5)	80.00% (R6)	改善	増加

④妊よう性温存療法

	がん患者とその家族等へ生殖機能への影響についての情報提供を適切に行う	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
18	指標	拠点病院等の相談支援センターにおける「妊孕性・生殖機能」に関する相談件数	6件 (R4)	9件 (R5)	改善	増加

	妊よう性温存療法及び温存後生殖補助医療に関する体制を整備する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
19	指標	妊よう性温存療法及び温存後生殖補助医療に関する情報提供、適切な専門施設への紹介を含めた診療体制を整備しているがん診療を行う医療機関の割合	69.23% (R5)	72.00% (R6)	改善	増加
	指標	県内指定医療機関での妊よう性温存療法及び温存後生殖補助医療の実施件数	47件 (R4)	33件 (R5)	後退	増加

	在宅医療の提供体制が整備されている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
5	指標	がん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	92 (R5.4)	96 (R6.5)	改善	増加
	指標	がん患者の在宅死亡割合	26.8% (R3)	30.4% (R4)	改善	増加

	緩和ケアの提供体制及び質の向上により、がん患者及びその家族の苦痛の軽減ができ、QOLが向上できている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
6	指標	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	〈参考〉 70.1% (H30)	— —	—	増加
	指標	心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	〈参考〉 58.6% (H30)	— —	—	増加
	指標	身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分だと感じる患者の割合	— —	— —	—	増加
	指標	自身の治療について、関係する医療スタッフ間で情報が共有されていたと感じる患者の割合	〈参考〉 87.9% (H30)	— —	—	増加

	がん患者とその家族等が治療開始前に生殖機能への影響について認識し、適切に意思決定ができている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
7	指標	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	〈参考〉 36.8% (H30)	— —	—	増加

分野別施策・指標評価表(がん分野:2-2 個別のがん対策)

青:改善 黒:横ばい 赤:後退 —:指標評価なし

番号	施策（C 個別施策）
----	------------

①希少がん及び難治性がん対策

1	希少がん患者の集約化を図る	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	希少がん患者を琉球大学病院（県拠点病院）または沖縄県立中部病院（地域がん診療連携拠点病院）に紹介する体制を整備しているがん診療を行う医療機関の割合	76.92% (R5)	84.00% (R6)	改善	増加
2	難治性がんを専門的に行う医療機関情報を、医療機関相互で共有する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし				
3	難治性がん患者を専門的な医療機関に紹介する体制を整える	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし				

②小児がん及びAYA世代のがん対策

小児・AYA世代のがん患者の長期フォローアップを含む適切な医療を行う		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
4	指標	薬物療法	6人 (R4)	7人 (R5)	 改善	増加
		手術	6人 (R4)	5人 (R5)	 後退	増加
		放射線療法	6人 (R4)	3人 (R5)	 後退	増加
	指標	CLIC(小児緩和ケア研修会)を修了した医師の数	4人 (R4)	7人 (R5)	 改善	増加
	指標	小児がん看護に関する知識や技能を習得している看護師の人数	2人 (R4)	2人 (R5)	 横ばい	増加

小児・AYA世代のがん患者及びその家族等が、教育など必要な支援を受けられる体制を整える		指標項目	基準年	直近値	結果	目標
5	指標	小児・AYA世代のがん患者や経験者、きょうだいなどの家族等が、必要な支援や配慮を受けられるよう、相談支援体制の充実などに取り組んでいるがん診療を行う医療機関の割合	38.46% (R5)	56.00% (R6)	 改善	増加
	指標	医療環境にあるこどもや家族への療養支援に関する専門的な知識及び技能を有する者の人数	5人 (R4)	1人 (R5)	 後退	増加

③高齢者のがん対策

6	高齢のがん患者の特性に応じた適切な医療を提供する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた高齢のがん患者の特性に応じた適切な医療を提供しているがん診療を行う医療機関の割合	69.23% (R5)	76.00% (R6)	改善	増加
7	高齢のがん患者やその家族等に、適切な情報を提供する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	【再】患者や家族に対し必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニングを行っているがん診療を行う医療機関の割合	84.62% (R5)	80.00% (R6)	後退	増加

④離島及びへき地対策

8	地域がん診療病院は、本島の拠点病院と連携し、標準治療を提供する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし				
9	離島及びへき地のがん患者に対する情報支援を行う	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	指標設定なし				
10	離島及びへき地のがん患者が、居住地以外の医療機関を受診する際の渡航費等の支援を実施する	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	沖縄県離島患者等通院費支援事業実施市町村数	15 (R4)	17 (R5)	改善	18

番号	施策目標（B 中間アウトカム）
----	-----------------

1	希少がん患者が適切な医療を受けられる体制が整っている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	希少がん患者の初診から診断までの時間、診断から治療開始までの時間	— —	— —	—	減少
2	難治性がん患者が適切な医療を受けられる体制が整っている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	難治性がん患者を適切な医療機関（対応可能な医療機関等）に紹介しているがん診療を行う医療機関の割合	96.15% (R5)	84.00% (R6)	後退	増加

3	小児・AYA世代のがん患者やその家族等が、適切な情報を得て、悩みを相談できる支援に繋がり、長期フォローアップを含む適切な医療や教育、就労等の支援を受けられている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	他科と連携の取れた長期フォローアップ外来を設けているがん診療を行う医療機関数	3 (R5)	3 (R6)	横ばい	増加
	指標	がん相談支援センターに相談した小児がん患者の数	9件 (R4)	2件 (R5)	後退	増加
	指標	治療開始前に、就労継続について説明を受けた若年がん患者の割合	— —	— —	—	増加
	指標					

4	高齢者の特性に応じた適切な医療を患者が望んだ場所で受けられている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っているがん診療を行う医療機関の割合	65.38% (R5)	76.00% (R6)	改善	増加

5	地域がん診療病院において、標準治療が実施されている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	離島及びへき地地域におけるがん診療を行う医療機関のがん登録件数	786件 (R4)	799件 (R5)	改善	増加

6	正しい情報を基に、患者が自ら選択した医療機関を受診できている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	離島及びへき地地域における拠点病院等の新規相談件数	503件 (R4)	314件 (R5)	後退	増加

番号	分野目標（A 分野アウトカム）
----	-----------------

1	がんの種類・年代・住んでいる地域にかかわらず、患者本位の適切な医療を受けられている	指標項目	基準年	直近値	結果	目標
	指標	希少がんの5年生存率	口腔がん 咽頭がん (2014年診断)	58.9% —	—	増加
	指標	難治がんの5年生存率	膵臓がん (2014年診断)	13.9% —	—	増加
	指標	小児がん患者の5年生存率		— —	—	増加
	指標	若年がん患者のがんの診断・治療全般の総合評価	平均点	—	—	増加
			評価8以上	—	—	増加
	指標	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる若年がん患者の割合		— —	—	増加
	指標	【再】がんの診断・治療全般の総合評価	平均点	〈参考〉 8.2点	—	増加
			評価8以上	75.5% (H30)	—	増加
	指標	「がん治療」を決めるまでの間に、診断や治療を受ける診療所や病院を探すことに困難があった患者の割合		— —	—	減少

